2020 年 6 月 23 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」
東南アジアをベースとする FinTech 企業 SYNQA Pte. Ltd.への投資実行
―決済サービスおよびブロックチェーン技術におけるグローバル展開に期待―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、東南アジアをベースとする FinTeck 企業、SYNQA Pte. Ltd.（旧 Omise Holdings Pte. Ltd.、本社：シンガポール、代表取締役：長谷川 潤。以下、SYNQA と表記）に対する投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。SYNQA は今回の資金調達を活用し、企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を支えるエンタープライズ向けソリューションの開発と導入 、アジア全域のキャッシュレス社会の促進のため、既存の Fintech 事業を更に拡大していきます。

■投資先企業の概要

SYNQA は 2015 年の創業以来（事業会社としての Omise は 2013 年にタイで創業）、既存の決済サービスにおける課題を解決するために、オンライン決済プラットフォーム Omise Payment をはじめ、拡張性の高いパブリックブロックチェーン OMG Network を展開しており、決済、ブロックチェーン技術、同社の保有するインフラを活用した eWallet プラットフォームにおいて事業を拡大しています。人・企業・社会を繋ぎ、人々に金融サービスへアクセスする機会を平等に提供できる「金融包摂」の実現に向けて事業活動を展開しています。

本件プレスリリースの内容を含め、詳細については SYNQA のホームページ： https://www.synqa.co/をご参照ください。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 5 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1,093 億円となっています。
未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101

pr_media@sparxgroup.com